

「地方公共団体向けアナログ規制点検ツールα版」作業手順書【第1.1版】

デジタル庁 戦略・組織G

デジタル改革企画（法制・制度）

「地方公共団体向けアナログ規制点検ツールα版」について

デジタル庁では、地方公共団体が、所管する条例・規則等からアナログ規制に該当しうる条項をキーワード検索で洗い出す作業（デジタル庁「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル【第3.1版】」（以下「マニュアル」））の「Step 3」の一部に当たる作業）を自動で実施するツールとして、Excelのマクロを使った「アナログ規制点検ツール」を開発・提供。

2025年9月、地方公共団体からの支援強化の要望が大きいこと等も踏まえ、地方公共団体の実務に則した機能実装（主に以下）等を行った上で、「地方公共団体向けアナログ規制点検ツールα版」として開発・公開。

- フォルダに格納した複数の例規ファイルを一括点検可能（階層化されたフォルダ構成でも対応可）
- 洗い出し対象の例規ファイルについて、Word文書に加えリッチテキストファイルに対応
- マニュアル掲載のアナログ規制の検索キーワード例を網羅的にデフォルト設定（and検索・or検索にも対応）
- 検索で洗い出された条項を、「アナログ規制点検・見直し対象リスト様式例」（マニュアル「参考資料3」）に自動転記
- 同一条文に複数の規制区分のキーワードが混在するとき、複数行で表記するか1行で表記するか選択可能
- 様式例について、別ファイルに出力可能

本ツールの利用に関する主な流れ

手順0. 点検ツールファイルの設定確認（マクロの有効化、セキュリティ設定）

手順1. 事前作業（キーワードリストの設定）

手順2. ツールの動作設定（キーワードリスト・点検リスト様式の選択、条文抽出方法、条例名の取得位置、
条文抽出シートのキーワード着色、点検リストへのコピー方法）

手順3. 条文ファイル点検（点検対象ファイルのフォルダへの格納、一括実行・個別実行）

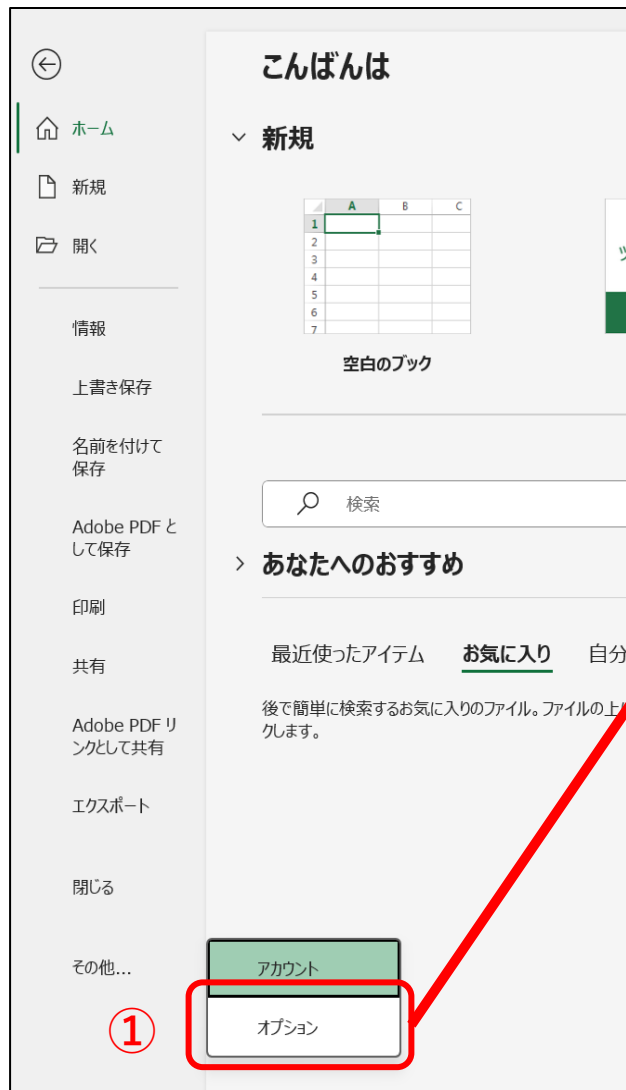
手順4. 点検リスト出力

手順5. 点検結果クリア（新しい点検を実施する場合）

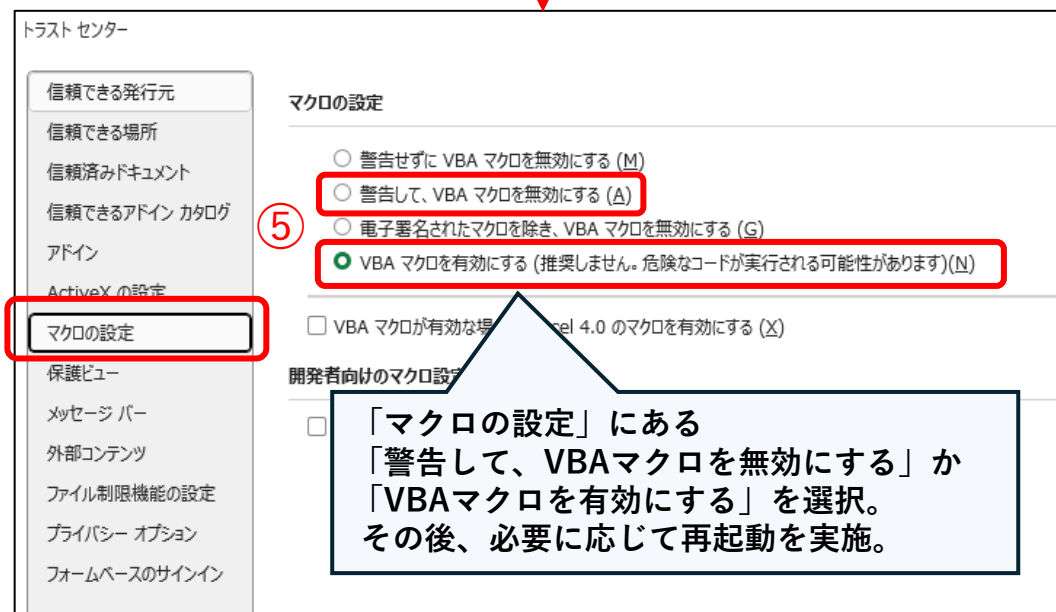
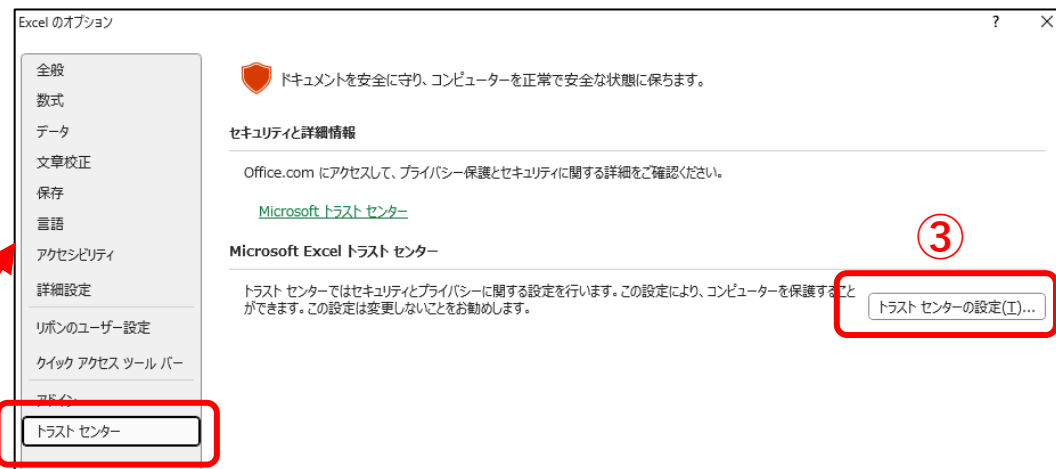
手順0. 点検ツールファイルの設定確認（マクロの有効化）

点検ツールを起動し、以下を選択。

「ファイルタブ」⇒「その他」⇒「オプション」

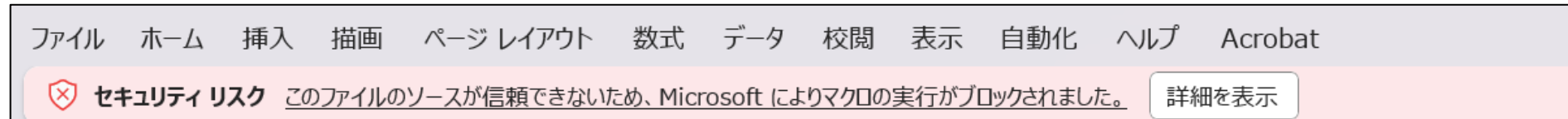
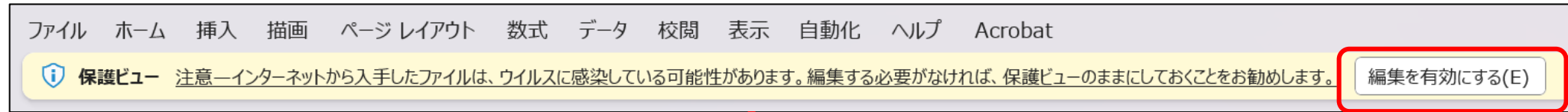


「トラストセンター」⇒「トラストセンターの設定」を選択。

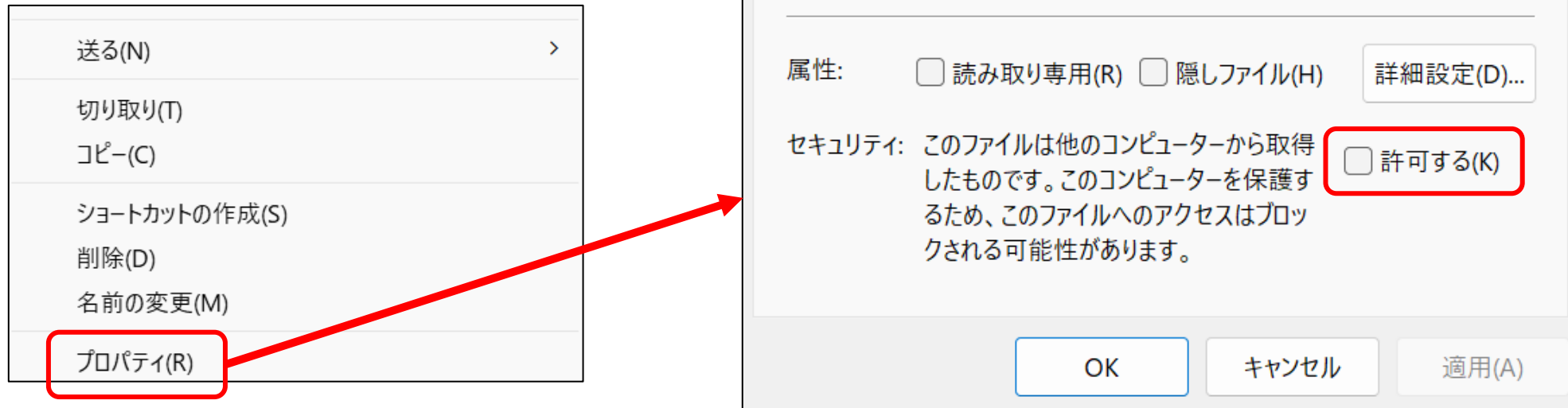


※点検ツールを起動する際は、ZIPフォルダ外に点検ツールファイルを移動してから起動。

手順0. 点検ツールファイルの設定確認（セキュリティ設定）



「編集を有効にする」をクリックしたのち、この「セキュリティリスク」メッセージが出た場合、以下の作業を実施。



ファイルを右クリックして出てくるメニューの「プロパティ」の、「セキュリティ」にあるチェックボックスにチェックを入れる。

点検シート画面解説と作業手順の説明

■「点検シート」シート

手順1. 事前作業

検索するキーワードを「キーワードリスト」シートで設定。

手順3. 条文ファイル点検

・点検対象のファイルが格納されているフォルダを指定して点検実施。

・点検処理を個別に実行することも可能。

手順4. 点検リスト出力

帳票に抽出された内容をExcelファイルとして出力し保存。

手順5. 点検結果クリア

点検を新たにやり直したい場合にこちらのボタンを押下。結果はクリアになるが、ツールの動作設定の内容は維持。

地方公共団体向けアナログ規制点検ツールα版

事前作業

「キーワードリスト」シートに点検対象のキーワードを設定します。
キーワードの設定方法は「本ツールに関する留意事項」シートをご参照ください。

① 条文ファイル点検

フォルダを指定してフォルダ内のリッチテキストファイル、ワードファイルを対象に条文を抽出してキーワード検索を行い、点検リストを作成します。（進捗状況を左下のステータスバーに表示します）

条文ファイル点検（一括実行）

点検リストをExcelファイルとして出力し保存します。
※先に①条文ファイル点検を実行してください。

点検リスト出力

点検処理を個別に実行する場合は以下のボタンから操作します。

(1) フォルダ選択

フォルダを選択し点検対象のファイル一覧を作成します
⇒点検シート

(2) 条文抽出

ファイルから条文を抽出します
⇒条文抽出シート

(3) キーワード検索

抽出した条文に対してキーワード検索を行います
⇒条文抽出シート

(4) 点検リスト作成

キーワード一致した条文を点検リストにコピーします
⇒様式例シート

点検結果クリア

本Excel内の作業データをクリアします。

点検結果クリア

点検フォルダ

対象ファイル

対象ファイル数

キーワード一致
ファイル数

エラー件数

条文数

キーワード一致
条文数

エラー内容

手順2. ツールの動作設定

・ **キーワードリスト・点検リスト様式の選択**
キーワードリストと点検リスト様式を、現行のマニュアル【3.1版】に対応したキーワードと新様式とするか、マニュアル【3.0版】に対応したキーワードと旧様式にするか選択。

・ **条文抽出方法**
点検対象の例規ファイルにおいて、Wordソフトの「段落番号」を利用している場合は、「段落番号を取得する」を選択。この場合、「段落番号を取得しない」場合と比べて処理時間が長くなる。

・ **条例名の取得位置**
条例等の例規の名称をファイルのどの部分から取得するかを選択。取得した情報が「条文抽出」シートのA列（条例名）に記載。

・ **条文抽出シートのキーワード着色**
キーワード検索で該当した箇所について「条文抽出」シートにおいて文字を着色するかしないかの設定。着色しない場合でも「様式例」では着色した状態となる。

・ **点検リストへのコピー方法**
「様式例」シートに転記する際、同一条文に複数の規制区分のキーワードが存在するときに「様式例」シートにおいて、規制区分ごとに行を分割するか、分割しないかの設定。分割しない場合、規制区分ごとにフォントの色分けを実施。マニュアルの参考資料11に記載している、デジタル庁が提供する生成AI活用のためのプロンプト例を使用する場合は「規制区分ごとに行を分割しない」を選択。

4

手順 1. 事前作業（キーワードリストの設定）

■「キーワードリスト」シート

検索するキーワードとその条件を設定。あらかじめマニュアルに記載されたキーワードが設定済みとなっている。

②～④の内容は自由に修正や追加をすることができるが、①は既存の規制区分の選択肢からしか選択できない。

※マニュアル第3.1版のキーワードリストに変更済。

① 規制区分	② 検索ワード	OR条件①	OR条件②	OR条件③	OR条件④	OR条件⑤	OR条件⑥	OR条件⑦	OR条件⑧	OR条件⑨	OR条件⑩
目視	目視	検査	点検	調査	確認	観察					
目視	実地	検査	点検	調査	確認	観察	聴取	面談	立会		
目視	現地	検査	点検	調査	確認	観察	聴取	面談	立会		
目視	訪問	検査	点検	調査	確認	観察	聴取	面談	立会		
目視	立ち入り	検査	点検	調査	確認	観察	聴取	面談	立会		
目視	巡視										

①規制区分

マニュアル記載の7項目+FD等から選択。

②検索ワード

検索ワードに記載のワードが検索対象。

③OR条件

②検索ワードと同じ条文にOR条件のいずれかのキーワードがある場合のみ抽出。

規制区分	検索ワード	OR条件①	OR条件②	OR条件③	OR条件④	OR条件⑤	OR条件⑥	OR条件⑦	OR条件⑧	OR条件⑨	OR条件⑩	除外条件①	除外条件②
書面掲示	掲示												
書面掲示	掲げ											次に掲げ	以下に掲げ
書面掲示	許可証												
書面掲示	見やすい												
書面掲示	標章												

④除外条件

②検索ワードに記載があっても、除外条件に記載された内容に合致する場合は抽出せず。

手順2. ツールの動作設定（条文抽出方法）

点検対象の例規ファイルがWordの「段落番号」機能を使用しているかの確認方法は以下の通り。

■例規ファイル

「段落番号」を使用している場合

Word 検索

参考資料 差し込み文書 校閲 表示

② 「段落番号」を使用している場合はこのような表示

段落

1. 見出し
2. 見出し
3. 見出し

① 段落番号になっているか確認したい部分にカーソルを置く

「段落番号」を使用していない場合

Word 検索

参考資料 差し込み文書 校閲 表示

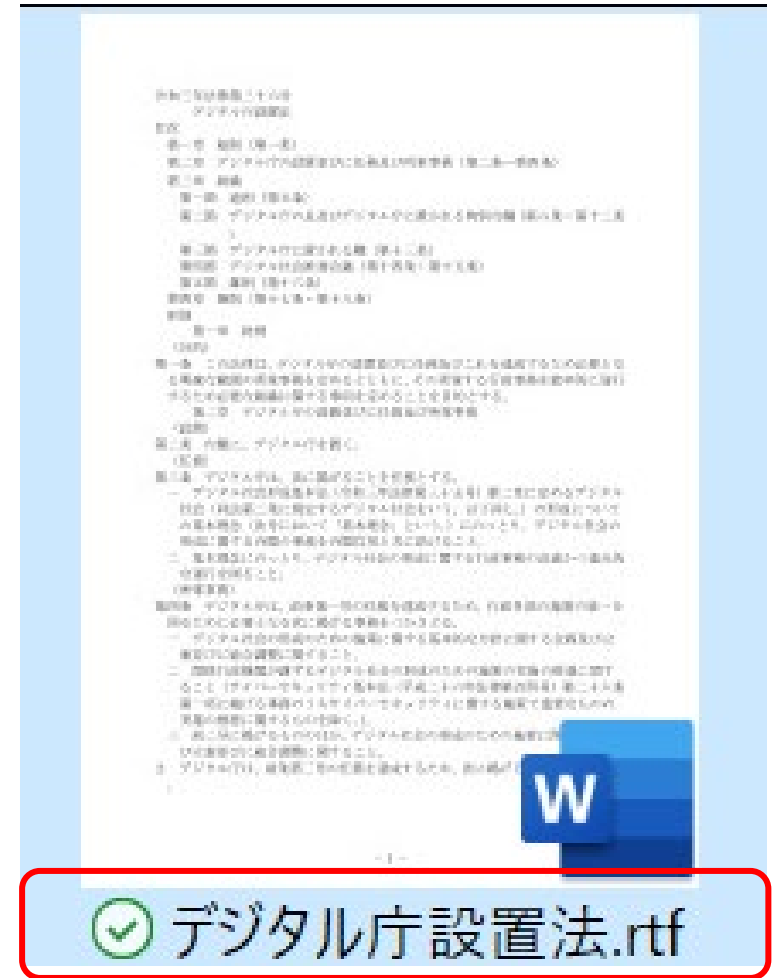
段落

1. 見出し
2. 見出し
3. 見出し

手順 2. ツールの動作設定（条例名の取得位置）

条例等の例規の名称が、対象となる例規ファイルのどこに記載されているかに応じて取得位置を3つの選択肢の中から指定。
ここで指定した内容が「条文抽出」シートの条例名に転記される。

令和三年法律第三十六号	選択肢① ファイル内の1行目
デジタル庁設置法	選択肢② ファイル内の2行目
目次	
第一章 総則（第一条）	
第二章 デジタル庁の設置並びに任務及び所掌事務（第二条—第四条）	
第三章 組織	
第一節 通則（第五条）	
第二節 デジタル庁の長及びデジタル庁に置かれる特別な職（第六条—第十二条）	
第三節 デジタル庁に置かれる職（第十三条）	
第四節 デジタル社会推進会議（第十四条・第十五条）	
第五節 雑則（第十六条）	
第四章 雑則（第十七条・第十八条）	



選択肢③ ファイル名

※上記の例では「ファイル内の2行目」又は「ファイル名」を選択すると、正しい例規の名称である「デジタル庁設置法」が抽出可能。

手順 2. ツールの動作設定（条文抽出シートのキーワード着色）

条文抽出の時点でキーワードを着色するかの設定が可能。着色しない場合は処理時間の短縮が見込まれる。

■「条文抽出」シート

着色する場合

条例名	条番号	条文
令和三年法律第三十六号	第五条	(組織の構成) 第五条 デジタル庁の組織は、任務及びこれを達成するため必要となる明確な範囲の所掌事務を有する行政機関により系統的に構成され、かつ、デジタル社会の形成に関する内閣の課題に弾力的に対応できるものとしなければならない。 2 デジタル庁は、内閣の統轄の下に、その政策について、自ら 評価し 、企画及び立案を行い、並びに内閣府及び国家行政組織法（昭和二十三年法律第二十号）第一条の国の行政機関と相互の調整を図るとともに、その相互の連絡を図り、全て、一体として、行政機能を発揮しなければならない。

評価し

着色しない場合

条例名	条番号	条文
令和三年法律第三十六号	第五条	(組織の構成) 第五条 デジタル庁の組織は、任務及びこれを達成するため必要となる明確な範囲の所掌事務を有する行政機関により系統的に構成され、かつ、デジタル社会の形成に関する内閣の課題に弾力的に対応できるものとしなければならない。 2 デジタル庁は、内閣の統轄の下に、その政策について、自ら 評価し 、企画及び立案を行い、並びに内閣府及び国家行政組織法（昭和二十三年法律第二十号）第一条の国の行政機関と相互の調整を図るとともに、その相互の連絡を図り、全て、一体として、行政機能を発揮しなければならない。

評価し

■「様式例」シート

条文／ 規定内容
(組織の構成) 第五条 デジタル庁の組織は、任務及びこれを達成するため必要となる明確な範囲の所掌事務を有する行政機関により系統的に構成され、かつ、デジタル社会の形成に関する内閣の課題に弾力的に対応できるものとしなければならない。 2 デジタル庁は、内閣の統轄の下に、その政策について、自ら 評価し 、企画及び立案を行

どちらの場合でも転記先の「様式例」では着色。

手順 2. ツールの動作設定（点検リストへのコピー方法）

検索した結果、同一条文に複数の規制区分のキーワードが含まれる場合、規制区分ごとに行を分割するか分割しないかを選択可能。

■「条文抽出」シート

条番号	条文	ファイルパス (D列を選択すると Wordファイルを開きます)	目視	実地 監査	定期 検査・ 点検	常駐・ 専任	対面 講習	書面 提示	往訪・ 閲覧	FD等	総 ピツ ト数
第五百二十五条	(承諾の期間の定めのない申込み) 第五百二十五条 承諾の期間を定めないでした申込みは、申込者が承諾の通知を受けるのに相当な期間を経過するまでは、撤回することができない。ただし、申込者が撤回する権利を留保したときは、この限りでない。 2 対話者に対してした前項の申込みは、同項の規定にかかわらず、その対話が継続している間は、いつでも撤回することができる。 3 対話者に対してした第一項の申込みに対して対話が継続している間に申込者が承諾の通知を受けなかったときは、その申込みは、その効力を失う。ただし、申込者が対話の終了後もその申込みが効力を失わない旨を表示したときは、この限りでない。	C:\Users\北川淳(KIT)	1	1	0	0	0	0	0	0	2

■「様式例」シート

分割する場合

目視	民法	第五百二十五条	(承諾の期間の定めのない申込み) 第五百二十五条 承諾の期間を定めないでした申込みは、申込者が承諾の通知を受けるのに相当な期間を経過するまでは、撤回することができない。ただし、申込者が撤回する権利を留保したときは、この限りでない。 2 対話者に対してした前項の申込みは、同項の規定にかかわらず、その対話が継続している間は、いつでも撤回することができる。 3 対話者に対してした第一項の申込みに対して対話が継続している間に申込者が承諾の通知を受けなかったときは、その申込みは、その効力を失う。ただし、申込者が対話の終了後もその申込みが効力を失わない旨を表示したときは、この限りでない。
定期検査・点検	民法	第五百二十五条	(承諾の期間の定めのない申込み) 第五百二十五条 承諾の期間を定めないでした申込みは、申込者が承諾の通知を受けるのに相当な期間を経過するまでは、撤回することができない。ただし、申込者が撤回する権利を留保したときは、この限りでない。 2 対話者に対してした前項の申込みは、同項の規定にかかわらず、その対話が継続している間は、いつでも撤回することができる。 3 対話者に対してした第一項の申込みに対して対話が継続している間に申込者が承諾の通知を受けなかったときは、その申込みは、その効力を失う。ただし、申込者が対話の終了後もその申込みが効力を失わない旨を表示したときは、この限りでない。

分割した場合は赤字で表記。

分割しない場合

目視 定期検査・点検	民法	第五百二十五条	(承諾の期間の定めのない申込み) 第五百二十五条 承諾の期間を定めないでした申込みは、申込者が承諾の通知を受けるのに相当な期間を経過するまでは、撤回することができない。ただし、申込者が撤回する権利を留保したときは、この限りでない。 2 対話者に対してした前項の申込みは、同項の規定にかかわらず、その対話が継続している間は、いつでも撤回することができる。 3 対話者に対してした第一項の申込みに対して対話が継続している間に申込者が承諾の通知を受けなかったときは、その申込みは、その効力を失う。ただし、申込者が対話の終了後もその申込みが効力を失わない旨を表示したときは、この限りでない。
---------------	----	---------	--

分割しない場合は複数の色で表記。

手順 3. 条文ファイル点検（一括実行）

■ 「点検シート」 シート

①条文ファイル点検

フォルダを指定してフォルダ内のリッチテキストファイル、ワードファイルを対象に条文を抽出してキーワード検索を行い、点検リストを作成します。（進捗状況を左下のステータスバーに表示します）

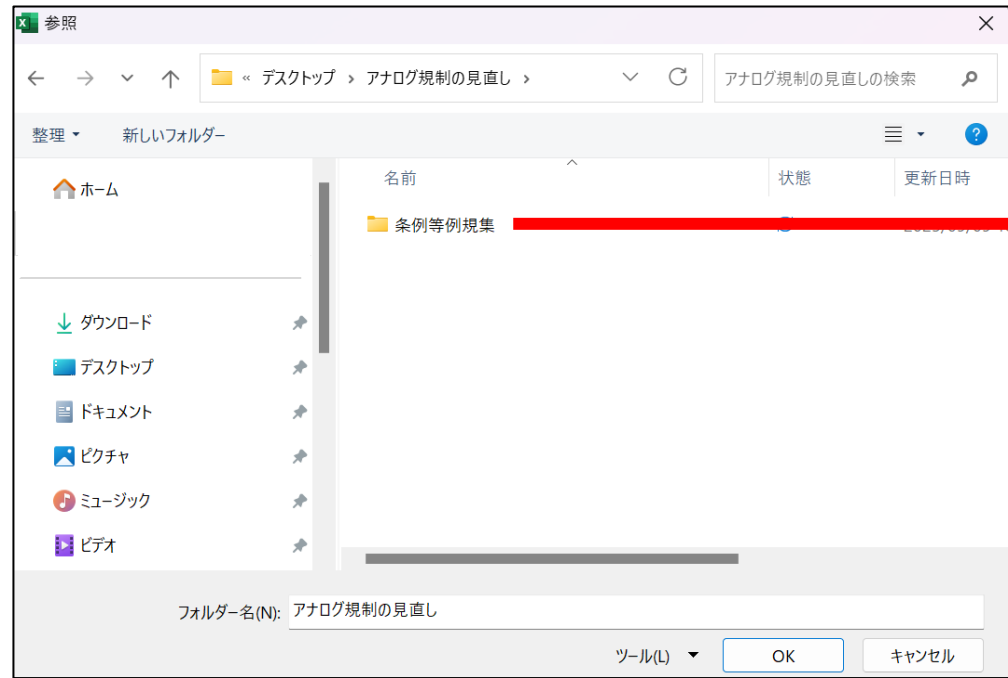
条文ファイル点検（一括実行）

②点検リスト出力

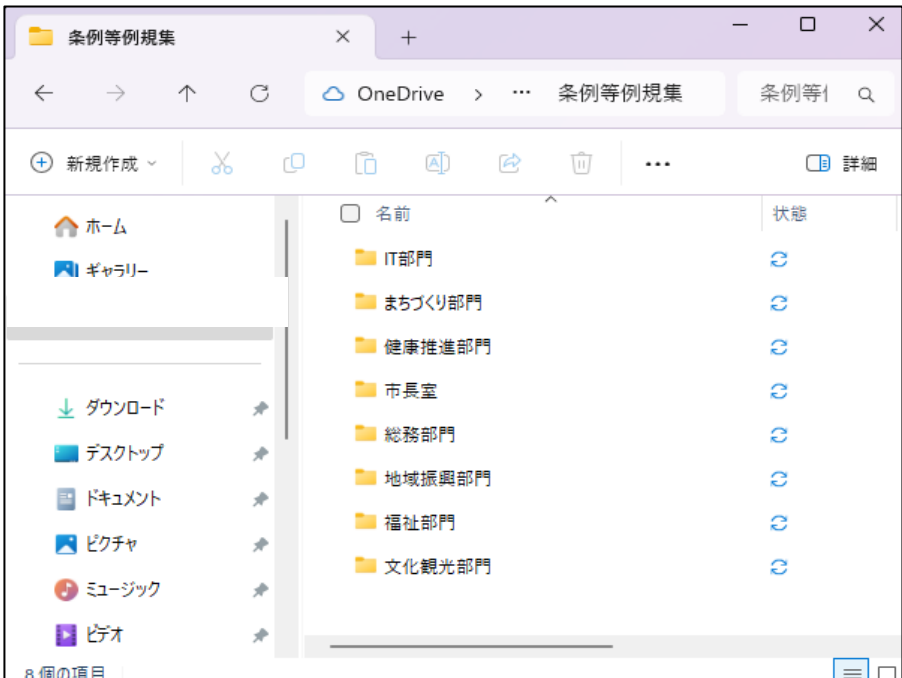
点検リストをExcelファイルとして出力し保存します。

事前に点検対象のファイルをフォルダに格納した上で、「条文ファイル点検（一括実行）」を押下し点検開始。

点検が可能なファイルは、Word文書（.docx .doc）及びリッチテキストファイル（.rtf）のみ。
※一太郎のファイルは対象外のため、一太郎→Word変換ツールを利用してWord文書に変換してから利用。



フォルダ選択画面で例規ファイルの格納された最上位のフォルダを指定すると点検が自動的にスタート。



指定したフォルダの配下にあるフォルダも認識可能。

手順3. 条文ファイル点検（個別実行）

■「点検シート」シート

事前作業

「キーワードリスト」シートに点検対象のキーワードを設定します。
キーワードの設定方法は「本ツールに関する留意事項」シートをご参照ください。

①条文ファイル点検

フォルダを指定してフォルダ内のリッチテキストファイル、
ワードファイルを対象に条文を抽出してキーワード検索を行い、
点検リストを作成します。（進捗状況を左下のステータスバーに表示します）

条文ファイル点検（一括実行）

②点検リスト出力

点検リストをExcelファイルとして出力し保存します。

点検処理を個別に実行する場合は以下のボタンから操作します。

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| (1) フォルダ選択 | フォルダを選択し点検対象のファイル一覧を作成します
⇒点検シート |
| (2) 条文抽出 | ファイルから条文を抽出します
⇒条文抽出シート |
| (3) キーワード検索 | 抽出した条文に対してキーワード検索を行います
⇒条文抽出シート |
| (4) 点検リスト作成 | キーワード一致した条文を点検リストにコピーします
⇒様式例シート |

点検処理の各工程を個別に実施することも可能。

特に初めて実施する場合や、ファイル数が多い場合は
個別に実行し動作を確認することを推奨。

手順 3. 条文ファイル点検（条文抽出・キーワード検索）

■「条文抽出」シート

対象ファイルの全条文を抽出したのち、キーワードの検索結果を表示。

条例名	条番号	条文	ファイルパス (D列を選択すると Word ファイルを開き ます)	目 視	実 地 監 査	定 期 検 査 ・ 点 検	常 駐 ・ 専 任	対 面 講 習	書 面 掲 示	往 訪 ・ 閲 覧 縦 覧	F D 等	総 ヒ ツ ト 数
明治二十九年法律第八十九号	第二百九条	<p>(隣地の使用)</p> <p>第二百九条 土地の所有者は、に掲げる目的のため、することができる。ただし、住家については、その居住者の承諾がない限り、立ち入ることはできない。</p> <p>一 境界又はその付近における障壁、建物その他の工作物の築造、収去又は修繕</p> <p>二 境界標の調査又は境界に関する測量</p> <p>三 第二百三十三条第三項の規定による枝の切取り</p> <p>2 前項の場合には、使用の日時、場所及び方法は、隣地の所有者及び隣地を現に使用している者（以下この条において「隣地使用者」という。）のために損害が最も少ないものを選ばなければならない。</p> <p>3 第一項の規定により隣地を使用する者は、あらかじめ、その目的、日時、場所及び方法を隣地の所有者及び隣地使用者に通知しなければならない。ただし、あらかじめ通知することが困難なときは、使用を開始した後、遅滞なく、通知することをもって足りる。</p> <p>4 第一項の場合において、隣地の所有者又は隣地使用者が損害を受けたときは、その償金を請求することができる。</p>	C:\Users\%●●●●	2	0	1	0	0	0	0	0	3

測量
(目視)

立ち入る
(目視)

通知
(定期検査・点検)

セルをクリックすると対象ファイルの該当条文が開く。

手順 3. 条文ファイル点検（点検リストの作成）

■「様式例」シート

「条文抽出」シートの内容を「様式例」に転記。一括実行の場合はこの作業まで実施。

アナログ規制点検・見直し対象リスト様式例										
No.	規制の洗い出し							根拠法令等名／ 通知・通達等名／ 条例等名	当該条項等	規制根拠 の分類
	所管課	担当者	連絡先	規制区分	条例等名 ／様式名	条項／ 掲載場所	条文／ 規定内容			
33				目視	明治二十九年法律第 八十九号	第二百九条	(隣地の使用) 第二百九条 土地の所有者は、次に掲げる目的のため必要な範囲内で、隣地を使用することができる。ただし、住家については、その居住者の承諾 がなければ、 立ち入 ることはできない。 一 境界又はその付近における障壁、建物その他の工作物の築造、収去又は修繕 二 境界標の調査又は境界に関する 測量 三 第二百三十三条第三項の規定による核の切り取り 2 前項の場合には、使用の日時、場所及び方法は、隣地の所有者及び隣地を現に使用している者（以下この条において「隣地使用者」という。） のために損害が最も少ないものを選ばなければならない。 3 第一項の規定により隣地を使用する者は、あらかじめ、その目的、日時、場所及び方法を隣地の所有者及び隣地使用者に通知しなければならない。 ただし、あらかじめ通知することが困難なときは、使用を開始した後、遅滞なく、通知することをもって足りる。 4 第一項の場合において、隣地の所有者又は隣地使用者が損害を受けたときは、その償金を請求することができる。			
34				定期検査・点検	明治二十九年法律第 八十九号	第二百九条	(隣地の使用) 第二百九条 土地の所有者は、次に掲げる目的のため必要な範囲内で、隣地を使用することができる。ただし、住家については、その居住者の承諾 がなければ、立ち入ることはできない。 一 境界又はその付近における障壁、建物その他の工作物の築造、収去又は修繕 二 境界標の調査又は境界に関する測量 三 第二百三十三条第三項の規定による核の切り取り 2 前項の場合には、使用の日時、場所及び方法は、隣地の所有者及び隣地を現に使用している者（以下この条において「隣地使用者」という。） のために損害が最も少ないものを選ばなければならない。 3 第一項の規定により隣地を使用する者は、あらかじめ、その目的、日時、場所及び方法を隣地の所有者及び隣地使用者に 通知 しなければならない。 ただし、あらかじめ 通知 することが困難なときは、使用を開始した後、遅滞なく、 通知 することをもって足りる。 4 第一項の場合において、隣地の所有者又は隣地使用者が損害を受けたときは、その償金を請求することができる。			

「様式例」に記載された点検リストを別ファイルとしてExcelファイル（.xlsx）に出力可能。

地方公共団体向けアナログ規制点検ツールα版

「キーワードリスト」シートに点検対象のキーワードを設定します。
キーワードの設定方法は「本ツールに関する留意事項」シートをご参照ください。

フォルダを指定してフォルダ内のリッチテキストファイル、ワードファイルを対象に条文を抽出してキーワード検索を行い、点検リストを作成します。(進捗状況を左下のステータスバーに表示します)

※先に①名文ファイル点検を実行してください。

(1) フォルダ選択	フォルダを選択し点検対象のファイル一覧を作成します ⇒ 点検シート
(2) 本文抽出	ファイルから本文を抽出します ⇒ 本文抽出シート
(3) キーワード検索	抽出した本文に対してキーワード検索を行います ⇒ 本文抽出シート
(4) 点検リスト作成	キーワード一致した本文を点検リストにコピーします ⇒ 点検シート

点検結果クリア

アナログ規制点検・見直し対象リスト様式例						
No.	種類の使い出し					
	所在地	担当者	連絡先	規制区分	発出番号 ／様式名	発出／ 宛先地用
					発出／ 宛先内容	種類別 の分類
1				定期検査・点検	令和三年法律第三十六号	<p>(所要事項)</p> <p>第四条 デジタル庁は、前条第一号の任務を達成するため、行政各部の種類の統一を図るために必要となる次に掲げる事項をつかさどる。</p> <p>一 デジタル社会の形成のための施策に関する基本的な方針に関する企画及び立案並びに総合調整に関すること。</p> <p>二 関係行政機関が講ずるデジタル社会の形成のための施策の実施の推進に関すること(サイバーセキュリティ基本法(平成二十六年法律第四十四号)第二十六条第一項に規定する事項のうちサイバーセキュリティに関する施策で最も急迫的な実施の推進に関するものを除く。)</p> <p>三 関係行政機関が講ずるデジタル社会の形成のための施策の実施の推進に関すること(サイバーセキュリティ基本法(平成二十六年法律第四十四号)第二十六条第一項に規定する事項のうちサイバーセキュリティに関する施策で最も急迫的な実施の推進に関するものを除く。)</p> <p>四 デジタル庁は、前条第二号の任務を達成するため、次に掲げる事項をつかさどる。</p> <p>一 デジタル社会の形成に関する基本計画(デジタル社会形成基本法第三十九条第一項に規定する基本計画をいう。)の作成及び推進に関すること。</p> <p>二 官民データ活用推進基本計画(官民データ活用推進基本法(平成二十八年法律第三十三号)第八条第一項に規定する官民データ活用推進基本計画をいう。)の作成及び推進に関すること。</p> <p>三 行政手続における特定の個人又は法人その他の団体の権利を保障するための番号、記号その他の符号の利用に関する総合かつ基本的な政策の企画及び立案並びに推進に関すること。</p> <p>四 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成二十五年法律第三十七号)第二条第五項に規定する個人番号、前条第七項に規定する個人番号カード、前条第八項に規定するカード付電話番号の付与及び前条第十九項に規定する個人番号の利用並びに同法第四十一条第一項の規定による情報提供ネットワークシステムでの企画及び推進に関すること、(他の府省の所掌に属するものを除く。)</p> <p>五 公的統計の支辨等の企画かつ実施の実施のための預貯金口座の登録等に関する法律(令和三年法律第三十八号)の規定による公的統計支辨等口座登録等への登録及び特定の統計の提供の決定に関すること。</p> <p>六 預貯金等の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律(令和三年法律第三十九号)の規定による預貯金等の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理及び災害時又は相対化における預貯金口座に関する情報の提供に関する制度に関すること(他の府省の所掌に属するものを除く。)</p> <p>七 情報連携技術を用いた本人確認に関する総合かつ基本的な政策の企画及び立案並びに推進に関すること。</p> <p>八 情報連携技術を用いた本人確認の信頼性の確保及び利用の促進を図る観点からの、取組登記法(昭和三十八年法律第四十二号)第十二条の二第一項、第三項及び第八項の規定による証明に関すること。</p> <p>九 電子署名及び認証関係に関する法律(平成二十二年法律第四十二号)第二条第一項に規定する電子署名に関すること(法務省の所掌に属するものを除く。)</p> <p>十 電子署名等に係る公共民間連携システム構築の促進等に関する法律(平成十四年法律第五十三号)第七十四条第四項に規定する署名機設置及び所管第三十条第三項に規定する民間署名機設置時期に関すること(総務省の所掌に属するものを除く。)</p>

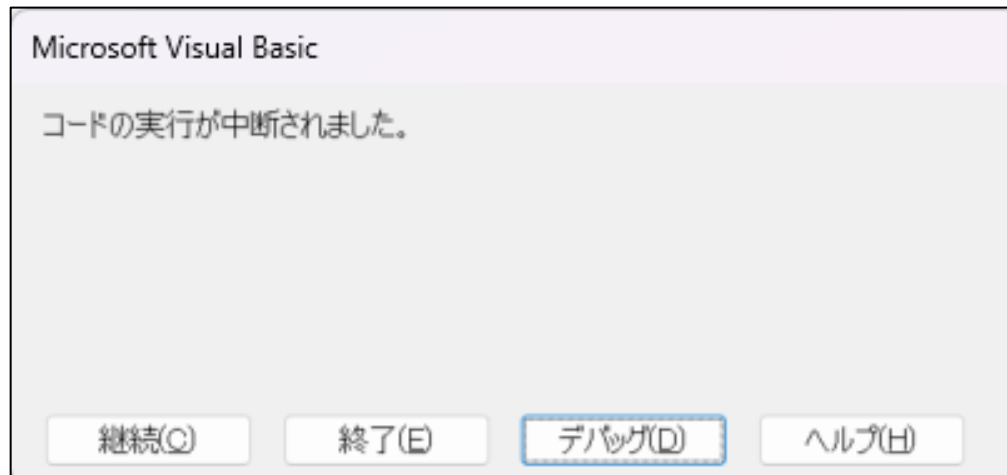
手順5. 点検結果クリア 他

■「点検シート」シート

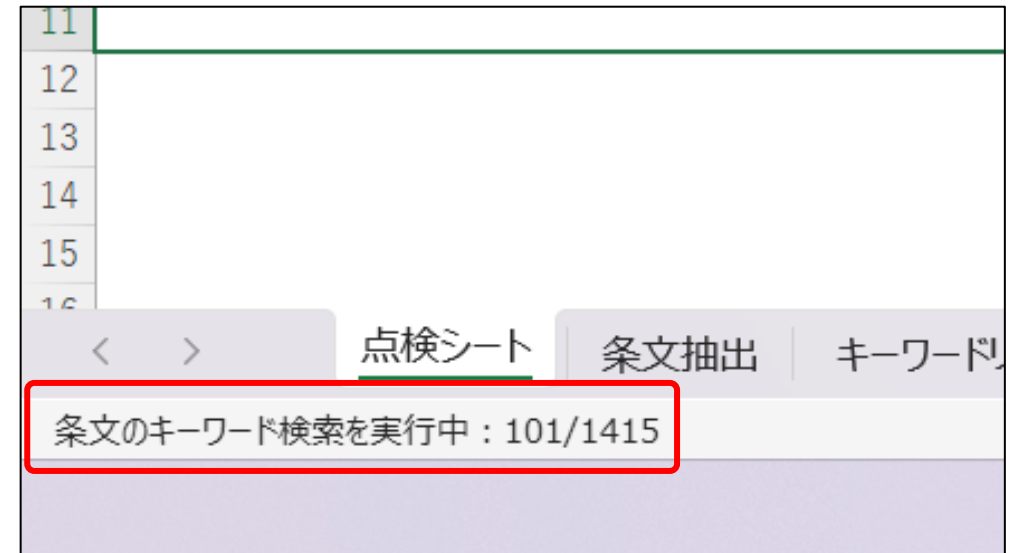
新しい点検を実施する際は、「点検結果クリア」をクリック。
各シートの点検結果が初期化となる。



点検作業が実施中の場合に点検を中止したい場合は
キーボードのEscボタンを長押しすると作業の中断が可能。



点検ツールの左下部に作業の進捗状況を表示。



その他の留意事項

- ・ 一度に点検可能なファイル数に制限はないものの、多くのファイルを点検すると非常に長くの時間を要してしまふことがあります。
 - ・ 点検対象となるファイルの文書内の表は文字だけを抽出可能ですが、表の構造や画像データの文字情報については抽出不可となります。
- ※その他詳細な条件等は本ツール内の「本ツールに関する留意事項」シートを確認してください。
- ・ 団体におけるシステムの設定でエクセルのマクロの動作を制限している場合がございます。マクロが起動しない場合は貴団体のシステム担当者に設定内容をご確認ください。
 - ・ 本ツールの利用方法等について不明点や質問等があれば、以下の連絡先までご連絡いただくか、共創プラットフォームの「#共創pf_デジ_pj_アナログ規制の見直し」チャンネルで質問してください。

デジタル庁 戦略・組織G デジタル改革企画（法制・制度）

rincho-local@digital.go.jp